

未来志向の環境にやさしい地域づくり事業実施概要

平成 31 (2019) 年 3 月時点 栃木県環境森林部 地球温暖化対策課

(1) 事業目的

地球温暖化防止に係る普及啓発事業については、個人に対する家庭等における省エネ・節電等の推進に係る取組を中心に実施してきたが、より一層の強化を図るため、地域単位で事業者(商工・観光部門)や個人が連携して実施する「地球温暖化防止対策(エコ)と地域活性化」が両立する面的な取組を推進していくこととし、県内2地域(2市町)においてモデル的に事業の検討・実証を行い、県内全域への波及を図るもの。

(2) 実施体制

- ① 栃木県(実施主体:県地球温暖化対策課及び実施市町所管環境森林事務所)
 - ② 栃木県地球温暖化防止活動推進センター(事業(庶務等)委託先)
 - ③ 実施地域:足利市及び大田原市
 - ④ 車座会議座長:宇都宮大学地域デザイン科学部 准教授1名、教授1名
 - ⑤ 車座会議有識者(地域活性化):宇都宮大学 地域創生推進機構 特任教授
 - ⑥ 車座会議構成員:地域の事業者、市観光協会職員、市商工会職員 等
- ※ ①～⑥が各地域車座会議のコア構成員

(3) 実施期間:平成 28(2016)年度～平成 30(2018)年度

平成 28(2016)年度:車座会議の実施(実証事業検討)、平成 29(2017)年度:実証事業の実施・検証
平成 30(2018)年度:実証事業の実施(2年目)・検証・まとめ、成果普及シンポジウム開催

(4) 平成 28(2016)年度実施結果概要 (職名等は、平成 30(2018)年4月時点のもの)

① 車座会議座長(コーディネーター)及び有識者の選定

【座長】

- ・足利市:宇都宮大学 地域デザイン科学部 コミュニティデザイン学科 阪田 和哉 准教授
- ・大田原市:宇都宮大学 地域デザイン科学部 建築都市デザイン学科 横尾 昇剛 教授

【有識者(両地域)】

宇都宮大学 地域創生推進機構 西須 紀昭 特任教授

② 実施地域の選定(本県の地域特性に鑑みて都市部、中山間地域を1箇所ずつ選定)

都市部:足利市 中山間:大田原市

⇒各市町に実施意向を照会し、実施可能との意向を示した市町の実施体制やこれまでの事業の実施状況を総合的に勘案の上、実施地域(市町)を選定

③ 座長・有識者による実施地域における事業素案の検討

- ・実施市町の地域資源の確認・把握及び実証事業素案の検討・決定
- ・車座会議構成員(コア構成員以外のメンバー)の検討・決定

④ 車座会議の開催実績

全構成員による車座会議を各地区年間4回実施(実証事業素案に基づく実証事業の検討、実証事業の検討(実施体制・実施方法等の検討等、平成 28(2016)年度のまとめ、実証事業実施に向けての最終調整)

* その他コア構成員による車座会議を各地区年間3回～4回実施

⑤ 県内全域への平成 28(2016)年度実施結果概要等のフィードバック

本事業の平成 28(2016)年度の実施結果概要(2地域で実施する実証事業概要、検討経過等)をまとめた資料を作成し、県内各市町に情報提供を実施

(5) 平成 29(2017)年度実施結果概要

① 実証事業の実施⇒平成 28(2016)年度実施の車座会議において検討・決定した事業の実施

【足利地域】

- クールシェアスポットバスツアー(市民対象):参加者数 66 名(4回開催:7月～8月)
- 自転車・ハイキングによる市内観光地巡り(観光客対象)
 - ・ハイキング(JR 事業「駅からハイキング」との連携事業:参加者数 344 名(6月 10 日～30 日)
 - ・サイクリングスタンプラリー:参加者数 542 名(10 月 1 日～11 月 30 日)
 - ・二酸化炭素排出量削減効果*総計:2.24t
(バスツアー:0.26t ハイキング:0.65t サイクリング:1.33t)

【大田原地域】

ロードバイク等によるエコポタリング(コースの設定 + ポタリングイベントの実施(年間2回))

- ・ポタリングイベント(大田原エコポタ:6月開催分):参加者数 89 名
- ・ポタリングイベント(里山ポタリグ&大田原エコポタ:9月開催分):参加者数 90 名
- ・二酸化炭素排出量削減効果総計:0.61t(6月開催分:0.27t 9月開催分:0.34t)

② 車座会議の開催

全構成員による車座会議を各地区年間2回(H29(2017)実証事業の検証・H30(2018)実証事業内容検討・H29(2017)のまとめ等)

* その他コア構成員による会議を各地区年間2~3回実施

③ 県内全域への平成 29(2017)年度実施結果概要等のフィードバック(市町環境行政主管課担当者会議(2月開催)での説明)

(6) 平成 30(2018)年度実施結果概要

① 実証事業の実施⇒H29(2017)の検証結果を反映した実施

【足利地域】

- クールシェアスポットバスツアー(市民対象) :参加者 84 名(4回開催:7月~8月)
- 自転車・ハイキングによる市内観光地巡り(観光客対象)
 - ・サイクリングスタンプラリー:参加者数 900 名(5月 12 日~7月 1日)
 - ・ハイキング(JR 事業「駅からハイキング」との連携事業:参加者数 516 名(6月 9 日~30 日)
 - ・二酸化炭素排出量削減効果*総計:3.41t
(バスツアー:0.30t サイクリング:2.15t ハイキング:0.96t)

【大田原地域】

ロードバイク等によるエコポタリング(エコポタ Map の作製+ポタリングイベントの実施(年間2回))

- ・ポタリングイベント(おおたわらエコポタ:6月開催分):参加者数 126 名
- ・ポタリングイベント(里山ポタリグ&おおたわらエコポタ:9月開催分):参加者数 183 名
- ・二酸化炭素排出量削減効果総計:1.10t (6月開催分:0.41t 9月開催分:0.69t)

② 車座会議の開催 (3回程度予定:H30(2018)実証事業の検証・事業全体まとめ等)全構成員による車座会議を各地区年間2回(H29(2017)実証事業の検証・H30(2018)実証事業内容検討・全体のまとめ)

* その他コア構成員による会議を各地区年間2~3回実施

③ 県内全域への本事業の成果普及シンポジウムの開催 (12月2日(日)開催)

会場:県立宇都宮産業展示館 小展示場 参加者:約 110 名

テーマ:低炭素型移動手段を COOL CHOICE! ~地域単位での取組を推進するために~

連携イベント:eco テック&ライフ 2018(主催:栃木県地球温暖化防止活動推進センター)

④ 県内全域への実証結果の普及(実施報告書の作成等)

(7) 評価指標

実証事業参加者人数及び二酸化炭素排出量削減効果

平成 29(2017)年度 両地域実績合計 参加者数合計:1,131 名 二酸化炭素排出量削減効果:2.85t

平成 30(2018)年度 両地域実績合計 参加者数合計:1,809 名 二酸化炭素排出量削減効果:4.51t

* 自家用車使用と比較した削減効果等(足利地域のバスツアーは当該ツアー参加による家庭のエアコン停止に伴う削減効果も加算):国土交通省算出:輸送手段別の輸送量当たりの二酸化炭素の排出量(旅客:2015 年度)等を用いて算定

(8) 本事業終了後の展開について

○ 実施地域において、本事業終了後も実証事業の考え方やノウハウ等を活かした事業を行政・車座会議構成団体で可能な範囲で継続していく。

○ 実施地域以外においても、実施地域のノウハウを活かした事業が展開されるよう、実施結果を検討のプロセスを含めて県内の市町行政や担い手となり得る個人や団体に情報提供する。

(9) 留意事項

平成 30(2018)年度をもって県事業は終了。地域活性化担当部門と連携しての成果普及の実施を今後検討・調整予定。